

「希望五郷いわた」

農業・農村の復興に向けて②

■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

東日本大震災津波から約半年

沿岸被災地では環境省の補助事業により、ガレキの撤去が進み農地の形も見えるようになってきました。しかし、機械では取りきれない細かいガレキ、海水の塩分、海底のヘドロなどの津波堆積物が残留しています。このままでは、来春も作付けできない状況です。また、内陸でも地震による農地や農道への亀裂、用水施設の破損等、甚大な被害が出ています。

営農の再開に向けては、国の災害復旧事業制度を活用して農地や農業用施設の復旧を図ることにしています。復旧工事に着手するためには、国へ事業の申請を行い、申請内容の査定（災害査定）を受ける必要があります。本号では、この「災害査定」の実施状況についてご紹介します（図1の部分）。

ガレキの撤去が進む 沿岸農地（山田町織笠）



災害査定の実況

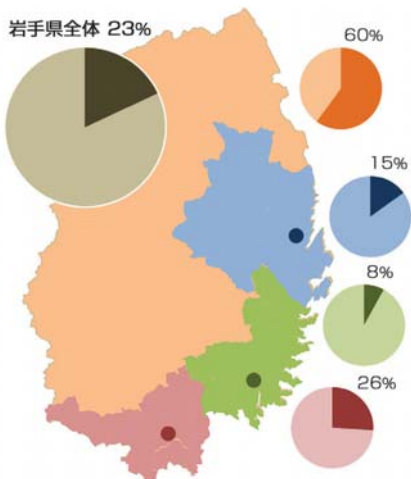
1 災害査定の実況

農地・農業用施設災害復旧支援隊（NSS）や市町村の被害調査（本誌8月号で紹介。図1の部分）の結果に基づき災害復旧計画を策定し、国へ事業の申請を行います。その申請に対して、国の査定官（農水省）と立会官（財務省）による「災害査定」が現地で実施されています。査定官らは申請された災害復旧計画について、現地で被災の事実や規模、復旧工法が適切かなどを確認し、計画の査定を行います。復旧工事は、査定を受けた計画に基づき、実施することになります。

8月26日現在、県全体での災害査定進捗率は23%となっています。



図1 災害復旧事業の流れ



- 岩手県全体 (23%)
査定済 320件/査定予定 1393件
- 宮古農林振興センター (15%)
査定済 24件/査定予定 163件
- 大船渡農林振興センター (8%)
査定済 42件/査定予定 547件
- 一関農村整備センター (26%)
査定済 119件/査定予定 458件
- 他の農村整備関係所 (60%)
査定済 135件/査定予定 225件

図2 県内の査定進捗率 (8月26日現在)

2 全国が岩手を支援！

今回の災害は甚大かつ広範に亘っており、相当の査定件数が見込まれます。そのため、県では農林水産省に対して、他県等職員
の応援について調整を依頼しました。その結果、6月20日から来
年3月2日までの期間、**31の道府県と国**（4地方農政局及び北海
道開発局）から農業土木系技術職員の派遣をいただくことになり
ました（派遣職員の方々を「**災害復旧応援隊**」と呼んでいます）。

「災害復旧応援隊」は、災害査定件数が多い市町村を管轄する、
県宮古農林振興センター、県大船渡農林振興センター及び県一関
農村整備センターに配属されています。慣れない環境の中で、農
業と農村の復興に向けた業務を担っていただいています。



第1陣で派遣された職員からの 抱負 中国四国農政局

つげはらさだひと
柘原貞仁 工事検査官
(写真中央)

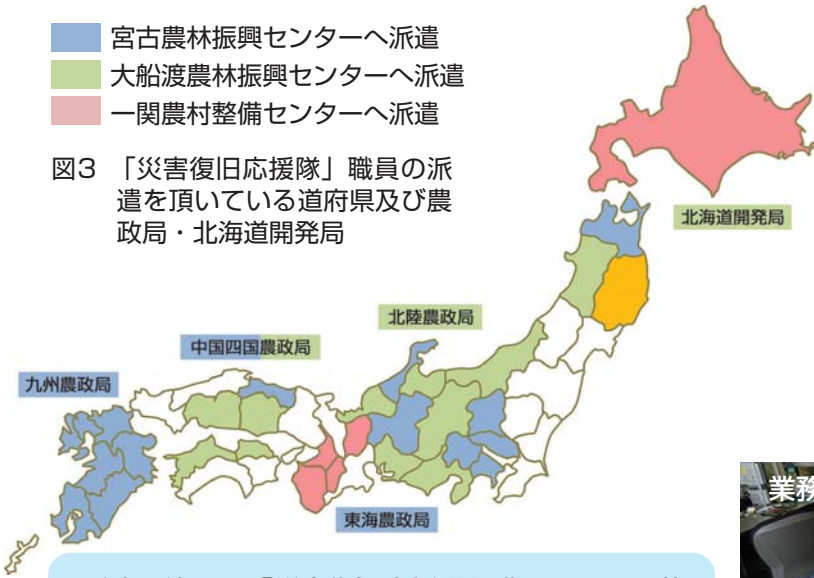
「東日本大震災の被害状況を
目の当たりにし、これは本当に
日本での出来事なのかと驚いた。

このような形で岩手県沿岸の災害復旧の支援に来ることが
でき、大変光栄に思っている。農業土木技術者として今まで
培ってきた経験を活かして、少しでも復旧の手伝いをしたい。」

(平成23年6月20日「災害復旧応援隊」活動開始式にて)

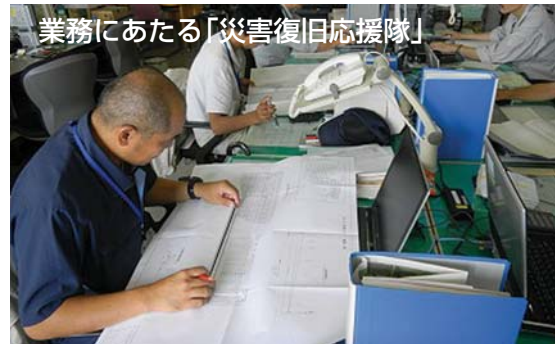
- 宮古農林振興センターへ派遣
- 大船渡農林振興センターへ派遣
- 一関農村整備センターへ派遣

図3 「災害復旧応援隊」職員の派
遣を頂いている道府県及び農
政局・北海道開発局



派遣を終えた「災害復旧応援隊」職員からの言葉

「私どもの支援が今後の査定の一助になればと思
います。岩手の方々のふるさとの復興に向けた「な
りわい」の再生を信じております。職場へ戻りまし
ても、岩手の応援隊としての気持ちは変わりません。
ありがとうございました。」



「岩手県東日本大震災津波復興計画」（平成23年8月11日策定）
は岩手県公式ホームページからご覧いただけます。

次の2つの計画で構成されています。

- ・復興に向けての目指す姿や原則、具体的な取り組みの内容
等を示す「復興基本計画」
- ・施策や事業、工程表等を示す「復興実施計画」

農村計画課・農村建設課のトピックス（農業普及誌8～12月、5回連
載）

次号11月は…

農業・農村の復興に向けて③「災害復旧と一体となって進めるほ場の
整備」をご紹介します。

※内容は変更になることがあります。ご了承ください。

●このページに関するお問い合わせ

岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

Tel019-629-5674 / Fax019-629-5679 / E-mail:AF0006@pref.iwate.jp

3 「なりわい」の再生に向けて

このようにして5月から始まった災害
査定は、**12月中の完了**を予定しています。
査定が終わった地区は、地元と調整を
図りながら順次、**復旧工事に着手**していき
ます。

県では、国や県内外の自治体等と協力
し、スピード感を持って「希望郷いわて」
の農業・農村の復興に向けて取り組んで
いきます。